

平成 30 年度第 1 回 四万十町地域公共交通会議

日 時：平成 30 年 6 月 27 日（水）10 時 00 分～12 時 00 分

場 所：四万十町役場本庁 西庁舎 3 階 会議室 3A

出席者：森武士（会長）、廣田敦（委員）、吉岡真佐人（委員）、三浦ひろみ（委員）、佐竹憲雄（委員）、谷崎直子（委員）

欠席者：芝和寿（委員）、山崎健一（委員）、山脇國子（委員）

事務局：四万十町企画課（3 名）、土居（調査委託業者 えこ・まち研究室）

傍聴者：竹本永子（高知県中山間地域対策課チーフ（生活支援担当者））

議 事：1.開会あいさつ

2.報告事項

(1)平成 29 年度四万十町コミュニティバスの利用状況について[報告事項]資料 1

3.その他

(1)生活交通確保維持改善計画について[承認事項]資料 2

要 旨

1.開会あいさつ

会長 森武士

2.報告事項

(1)平成 29 年度四万十町コミュニティバスの利用状況について[報告事項]資料 1

コミュニティバス利用実績、収支状況について説明。

【質問・意見】

(事務局)補足。窪川地域の収支状況について、国の補助が運行経費の 1/2 あると記載しているが、約 450 万円が補助金の上限となっている。

(委員)丸三ハイヤーが走らせているハイエースはガソリン車か。

(委員)ガソリン車です。

(委員)志和から東又に行くスクールバス（ハイエース）を走らせているが、04～5 kmしか走らない。車選び（ディーゼル車にするなど）も経済的なものに繋がっていくと思う。

(会長)ガソリンも高騰しておりますので、更新時には費用対効果の考慮も必要と思われる。

(委員)コミュニティバスの利用者数増加にはなにか原因があるのか。

(アドバイザー)戸川・戸口線については、要望があった奥にある集落まで路線を伸ばしたことで利用者数が増加したと考えられる。窪川地域においては、便数を増やした路線があ

り、それにより利用者数の減少は止まっていると考えられる。

(事務局)昨年度から、福祉タクシーバス事業で免許返納した人へも、福祉タクシー・バスチケットを配布するようになったため、それも要因と考えられる。福祉タクシー・バスチケット配布の対象は80歳以上方、障がい者手帳を持っている方、65歳以上の免許返納者が対象。

(委員)お年寄りでも免許を保有している方が増えてきている。最後まで免許にしがみつくなのではなく、免許を持ちながらバスにも乗ってもらい、車を乗れなくなったら、ではなく乗れなくなる前に利用するような取り組みもしていただきたい。

(委員)里川線はもともと人口が少ないが、少しでも乗らないとなくなってしまうという思いから頑張ってくれている。葛籠川線は当初から地域の繋がりが強く、時間を決めてお出かけをしたりしてくれておりとても協力的。ただ利用者数が減ったひとつの要因としては、亡くなった方が昨年度は多かったため。芳川線については、大正の中心地の田野々へ家を引き上げているが、芳川地区へ家だけ置いており、田んぼや畑が芳川にあるので車にも乗れるが、コミュニティバス継続のため往復乗ってくれている人がいる。また、以前は利用していたが体が弱ってしまったためたまにしか芳川におらず、乗れるようになるのは望みにくい方もいる。また、独居の女性で買い物のためにいつも利用してくれている人もいる。

相去線は、サンシャインハマヤが人気で、いつも乗ってくれている人に加え途中乗車してくれる人(天ノ川からなど)も多くおり、重宝して乗ってくれている。

特殊な例としては、趣味で全国のコミュニティバスに乗っている人が四万十町にも乗りに来たりしていた。

3.その他

(1) 生活交通確保維持改善計画について[承認事項]資料2

生活交通確保維持改善計画についての説明。

【質問・意見】

生活交通確保維持改善計画について 異議なし。

(会長)補助金をもらうのは2年目になるのか。

(アドバイザー)第1期の本格運行から補助金をもらっている。

(委員)利用者懇談会は十和の方ではやっていないのか。

(事務局)ここ数年はしていないが、今年はしようと計画していた。

(委員)十和地域では利用者懇談会がなかったため、十和地域の各路線に乗って意見を聞いてきた。コミュニティバスは本当に助かる、というのはすべての路線の意見。100円バスは本当にありがたい。病院・買い物通いだけでなく1週間に一度の出会いの場であり、喫茶店

でおしゃべりができる時間は生きがいである。モーニングを食べたくてバスに乗って出かけている。バスのある時間を楽しみにしている。いつも4~5人で乗っており多いときは乗れないときもある。バスの中でのおしゃべりが楽しい。いつも乗る人が乗らないときはあの人は病気ではないだろうか、とお互いに心配し地域の繋がりができる。

個人の車を借りるのは気を遣うが、バスは気を使わないでいいので助かる。バスが来ているので安心できる。運転手が大変親切で優しい。

要望について。大道線、1日の最終便だけでも向畑まで来てほしい。広井線、井崎谷にまで入ってほしい。野々川線、週2回走って欲しい。日曜日にも運行して欲しい。

(委員)窪川地区のコミュニティバスの時刻表(手持ちサイズのもの)はあるが、十和地域のものはないのか。

(事務局)今年の10月までに作成する。

(会員)谷崎委員からの十和地区では利用者懇談会がなかったということで、各路線の意見の話があったが、その意見を踏まえ事務局からの意見はないか。

(事務局)今年は窪川、大正、十和の3地区で利用者懇談会を行う。

(事務局)7月号の広報でタクシーの休業日について掲載を行う。須崎労働基準監督署からの指導により丸三ハイヤーが7月から第1、3、5日曜日が休業日になる。新生ハイヤーは第3日曜日が休業日(変更なし)。窪川ハイヤーは日曜日でも営業を行う。